CISPR 32とは何か－その目的と将来像

Ghery S. Pettit, NCE
President
Pettit EMC Consulting LLC

はじめに

CISPR 32「マルチメディア機器の電磁両立性－エミッション要求事項」の初版が発行されたのは2012年であった。この規格はデジタルテレビ受信機など家庭用電子機器の開発が大きく進展したために作られた。

CISPR は IEC の特別委員会の1つでありフランス語*で「国際無線障害特別委員会」という意味の略語である。CISPR は、さまざまな製品群に使われる多くの EMC 規格を発行している。本稿は、CISPR によって発行される規格の一部についてのみ議論するものである。

*訳者1: CISPR
Comite international Special des Perturbations Radioelectriquesの略。英語ではInternational Special Committee on Radio Interferenceと表記する。

CISPR の観点から見ると、デジタル TV 受信機が開発され広範囲に使われるようになる以前にも、テレビ受信機メーカーには対応するエミッション規格があった。CISPR 13 は、放送受信機からのエミッションの限度値および測定方法を提供する。同様に、コンピュータ・メーカーには、該当機器に対応するエミッション規格が1つあった。CISPR 22 は、コンピュータや周辺機器とも呼ばれる情報技術機器（ITE）からのエミッションの限度値および測定方法を提供する。これらの 2 つの規格は互いに独立していて、供試機器のさまざまな構成だけでなく、いろいろな限度値および測定方法を提供する。構成範囲でテレビ受信機メーカーが注意すべき重要な相違点は、ケーブルを複数の I/O ポートへ接続したときの影響を調べる CISPR 22 の要求事項で、これは CISPR 13 では要求